

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ			単位数	4単位
学科	普通科	履修学年	1 学年	コース		必修・選択	必修
教科書	Heartening English Communication I New Edition (桐原書店)						
副教材等	Heartening English Communication I New Edition Workbook Standard (桐原書店) 改訂版必携英単語 LEAP Basic (数研出版) オーレックス英和辞典 第3版 (旺文社)						

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①自己実現に向けて主体的に行動し、目標達成のために継続的に粘り強く取り組む能力と態度を育成する。 ②社会の一員として自己の責任を自覚し、他者と協働しながらより良い社会の実現を目指す態度を育成する。 ③人権、差別問題等を正しく理解し、適切な行動をとることができる能力と態度を育成する。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①進路目標に応じた情報収集や分析等により、生徒に現状と課題を認識させ、進路実現への意欲を高め、自主的な学習活動を促す。 ②ICTの活用による学習効果を高める工夫や積極的な授業改善により、生徒が「より深く分かる」授業を展開する。 ③探究活動を通じて、広い視野で物事を捉え思考する能力、課題解決に主体的に取り組む姿勢を育成する。また、発表等の機会を活用し、企画力やプレゼンテーション能力等の育成を図る。 ④人権に関する課題や多様性について理解を深め、課題を自らの事として捉え、人権を尊重する行動がとれる資質を身に付ける。 ⑤生徒の人格を尊重した丁寧な指導や、内面に寄り添った支援等により、自律的な行動への変容を促し、自己指導力を向上させる。

学 習 目 標	(1) 聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 (3) 話すこと〔やり取り〕 ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うこと
---------	---

		ができるようにする。 (4) 話すこと [発表] ア 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 (5) 書くこと ア 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。		
指導の重点		生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。 ア 対話や放送、説明などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要を把握する。 イ 電子メールやパンフレット、説明文や論文などから必要な情報を読み取り、書き手の意図や概要を把握する。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う。 ウ 情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う。また、対話や説明に対して、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う。 エ 様々な話題について、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える。また、書いた内容を読み合い、質疑応答したり、意見や感想を伝え合う。		
学 習 計 画	学期 (時数)	学習項目	学習内容(学習活動)	評価方法
	1 学期 (40)	Lesson 1 Who Is Your Hero?	[題材内容]車いすテニスの小田凱人選手の記事を読んで、概要を理解する。 [言語材料]現在形／過去形／進行形／未来表現	定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、ノート等各種提出物などから総合的に判断し、評価する。
		Lesson 2 Go, Anzu!	[題材内容]トイブドールの警察官アンズのニュースと視聴者のコメントを読んで、概要を理解する。 [言語材料]現在完了形／現在完了進行形／過去完了形／過去完了進行形	
		Lesson 3 We Can Make a Difference	[題材内容]環境問題への4人の取り組みを読んで、概要を理解する。 [言語材料]助動詞／助動詞の過去形	
		Lesson 4 Creative Problem Solving	[題材内容]ポイ捨てを減らす方法について読んで、概要を理解し、関連した情報を探す。 [言語材料]さまざまな受動態／前置詞	
	Project1/Real Life English1/Reading1 Four Words			

	2 学期 (48)	Lesson 5 Canned Bread to Feed the World	[題材内容]パンの缶詰の記事を読んで、概要やメッセージを理解する。 [言語材料]不定詞／SV（知覚動詞・使役動詞）＋O＋動詞の原形	定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、ノート等各種提出物などから総合的に判断し、評価する。
		Lesson 6 Could We Have a Real Jurassic Park?	[題材内容]恐竜再生についての講義を読んで、概要を理解し、関連した情報を探す。 [言語材料]動名詞／SVC（分詞）	
		Lesson 7 Behind the Price Tag	[題材内容]ファッション業界の問題点についての講演と参加者の意見を読んで、概要を理解する。 [言語材料]SVOC（分詞）／分詞構文	
		Lesson 8 The World's Winter Festivals	[題材内容]世界の冬の祭りについての本を読んで、概要を理解し、関連した情報を探す。 [言語材料]比較に関する表現／従属接続詞	
	Project2/Real Life English2/Reading2 The Boy with the Box			
3 学期 (40)	Lesson 9 Slackers in the Ant Nest	[題材内容]アリについての展示の解説を読んで、概要を理解し、関連した情報を探す。 [言語材料]関係代名詞／関係副詞／関係代名詞の非制限用法	定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、ノート等各種提出物などから総合的に判断し、評価する。	
	Lesson10 Capturing the Reality of the World	[題材内容] フォトジャーナリストの安田菜津紀さんの記事を読んで、概要やメッセージを理解する。 [言語材料] 仮定法過去／仮定法過去完了／仮定法を使った表現		
	Project 3/Real Life English 3			
計 1 2 8 時間（5 5 分授業）				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価の観点の趣旨と評価方法	英語の音声や語彙・表現・文法、言語の働きなどについて理解し、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて適切に活用している。	写真を参考に聞き取ったり読み取ったものから概要や要点、必要な情報を把握している。基本的な語句や文を用いて、考えを話したり、書いたりして伝えている。	文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的、自律的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。	
	以上の観点を踏まえ、定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物などから総合的に判断し、達成率が80%以上をA、79～50%をB、50%未満をCと評価する。	以上の観点を踏まえ、定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物などから総合的に判断し、達成率が80%以上をA、79～50%をB、50%未満をCと評価する。	以上の観点を踏まえ、定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物などから総合的に判断し、達成率が80%以上をA、79～50%をB、50%未満をCと評価する。	